

# 戦争と平和についてのおはなし会 ～道下小学校～

平成29年9月29日(金)に、道下小学校6年生を対象として「戦争と平和のおはなし会」を開催しました。

まず最初に、原子爆弾の悲惨な被害を伝えるDVD「被爆の爪跡」を見た後、図書館の朗読ボランティア「おはなしを楽しむ会」の方が作られた戦時中の衣装を見たり、戦時中の生活の様子のお話を伺いました。



当時の服を再現した

モンペを校長先生に着て

もらいました

次に、「おはなしを楽しむ会」の皆さんが朗読される原爆詩や被爆体験記を静かに聞きました。



短いお話からも、平和な現代からは想像もつかないような戦時中の悲惨な状況であったというそう遠くはない昔に起こった、信じられないような話が子ども達の心に響いているようでした。



紙芝居では富山の空襲「あの日も猛暑だった」を読み上げていただきました。戦時中は家族全員いることが奇跡であり。自分達が住んでいる富山でも被害にあった人がいることを学びました。



**富山でも悲惨な空襲があったことを知り、戦争が身近な出来事であったととらえることができました**

最後に、参加者全員で原爆詩を朗読してから、原爆や戦争で亡くなられた方のご冥福と世界の平和を祈って黙とうをささげました。